

ラバウル小唄

本調子

1/2

工
中上
中上
老
上中
工六
五
工中
上
中
中
工

工
上
四
乙
合
乙
老上
上上
上中
上

工
工
工
中上
中上
上上
老
乙
老

上
上
工
中
上
老
老
老
老
乙
合
乙
合

工
五
六
六
五
五
六
五
工
中
上
上
上
上
中
工
中
中
上

上
工
中上
中上
老
上中
工
六

五
工
中
上
中
工
工
工
中上
中上
上

老
上
中
工
六
五
工
中
上
中
工
上
中
上
工

ラバウル小唄

本調子

2/2

一、さらば ラバウルよ また来るまで
は

二、船は 出てゆく 港の沖へ

しばし 別れの 涙がにじむ

いとし あの娘の 打ちふるハン
カチ

戀し懐し あの島 見れば

声をしので ところで泣いて

椰子の 葉かげに 十字星

両手 合わせて ありがとう

三、波の しぶきで 眠れぬ夜は

四、赤い 夕陽が 波間に沈む

語り あかそよ デッキの上で

果ては 何處ぞ 水平線よ

星が またたく あの星 みれば

今日も はるばる 南洋航路

くわえ 煙草も ほろにがい

男 船乗り かもめ鳥

五、さすが男と あの娘は 言うた

燃ゆる 思いを マストに かか
げ

ゆるる 心は 憧れ はるか

今日は 赤道 椰子の下